

## 第23回宇宙安全保障部会 議事要旨

### 1. 日時

平成29年10月16日（月） 10:00～12:00

### 2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員

中須賀部会長、片岡部会長代理、折木委員、久保委員、白坂委員、名和委員、山川委員

#### (2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、佐伯審議官、山口参事官、行松参事官、高倉参事官、佐藤参事官、滝澤参事官、津井企画官

#### (3) 関係省庁等

内閣官房国家安全保障局 伊藤審議官

内閣官房内閣情報調査室内閣衛星情報センター管理部 芹澤部長

外務省総合外交政策局宇宙室 泰松室長

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課 山之内企画官

海上保安庁海洋情報部海洋情報課 矢吹課長

海上保安庁警備救難部警備情報課 池田課長補佐

防衛省防衛政策局戦略企画課 五味課長

三菱電機株式会社 小山役員技監

### 4. 議事要旨

#### (1) 宇宙システムの機能保証強化関連施策について

資料に基づき、事務局より説明を行った。委員から以下の意見があった。

(以下、○意見等)

○ 情報共有、各省において宇宙システムの脆弱性評価を進めていくことは整理したが、今後は国として一括的に横通しをして全体を見ながら対応していくべきである。

○ 資料1-1「宇宙システムの機能保障強化関連施策（素案）」について、各種対策が網羅的に記載されているのが現状である。今後は個別の衛星を対象とした対策と共通的な対策を整理して全体的に抜けが無いように評価することが望ましい。

#### (2) 宇宙安全保障関連の平成30年度概算要求状況について

資料に基づき、事務局及び関係府省庁より説明があった。委員から以下の意見があった。(以下、○意見等、●事務局等の回答)

○ 国際的に衛星の小型化が進んできており、ALOS-3, 4以降の観測衛星において、我が国がどのような方向性を目指すかをきちんと議論していくことは重要である。

- 海上保安庁の海洋状況表示システムの分析機能について説明頂きたい。
- どの程度までを分析といえるのかが明確でないため現時点で説明することは難しいが、まずは既存の気象庁等の衛星情報を他の海洋情報と重ねて閲覧できる機能を整備する。
  
- 防衛省に対し宇宙システムの機能保証の観点から通信の暗号化等の研究開発等をどのように行っていくのか。
- 各省庁でそのような技術開発に取り組んでいることは承知しており、関係各省と連携して、対応できるシステムの構築に努めていく。

(3) 宇宙安全保障関連の衛星技術の動向について

三菱電機より、スライドを使った説明があった。委員から以下の意見があった。  
(以下、○意見等、●事務局等の回答)

- 米国の 2018 年打ち上げ予定の HAWKEYE360 という電波収集衛星について、どのように AIS 情報とは別に船舶等の位置を把握するのか。
- 複数の衛星で同時に観測し、三角測量の要領で位置を標定する。
  
- 米空軍情報システム(ICITE)について、データ解析はどのように行われているのか。
- 従前は人とスーパーコンピューターを駆使して分析を行っていたが、最近では AI とディープラーニング技術も活用して分析を行っていると思われる。

以上